



新刊 五月六日 四月六日

養蠶も煙草耕作も 適地適作が肝要

繭高で養蠶が利益の様だが 繭高で養蠶もまた大切

石城地方の養蠶は来る十五、十六日頃から早場物の出廻りを見る。昨年の相場は沼津市場の相場が買割れ百二十圓(八十五掛)を唱ひてゐる。上級期を控えた地方蠶家を張切らしてゐるが此の相場を直ちに地方産繭へ受取り得ないとしても大体十貫百十圓前後を確保かと豫想されてゐる。繭高がこゝまで張出せば煙草の耕作に押され氣味であつた蠶家に強味が生じ其採算に實當り十一圓に繭が賣れれば反當收養三百貫(平均作)として一貫目の收養に二十貫の桑があれば充分であるから十五貫の收養で反當收入百六十五圓になる、しかもそれが春早々から栽培に着手し秋に至つて漸く現金を見る煙草の収入と異なり僅々三十日毎に回収が出来る養蠶が遙かに有利であるのみならず桑葉の地方平均作三百貫は煙草の如き高價な給肥を行ひ且つ耕田の手入れをなせば反當五百貫乃至八百貫の桑葉を獲られるから繭高が百圓以下になつても非常な利益である、と語られ而して煙草の収入は昨年那草平均張所管下百三十九町七反余の耕作者千四百七十七人に見るに管内優秀な成

繭市場は十三日から 今日石双乾繭技術員會

石双乾繭四倉市場では今日(四日)午前十時から同前組合事務所樓上に開催せる組合技術員會に於て春繭出荷の期日に處する準備その他につき協議をすることになつた。

配給された飼料は 直ちに受取る

家畜の飼料難に悩んでゐる農村に對して配給される大豆粕は縣農務課を経て石城郡下へも去る二月分千三百四俵、三月、四月に千三百五俵、何れも軍用保護馬へ那産馬組合宛送られて大助かりと喜ばれてゐるが時たま、農繁期に差かゝつた爲め馬数によつて頒付する方部割當のうち二月分として送られたものに受渡し残がある有様に産馬組合側では縣農務課から荷爲替で来る指定期

掛渡りのことはシオリチア、受取を寄くこととは開個收單でカイコシオウタン、品物は丈夫であるを東西絹質でトシチエシ、傷病があると云ふをば有毛病でユウマオピンと唱

支那軍語

宮津操 草野道平 ▲學校醫 第一校久保田真 草野道平 西山重 鈴木正 福原利清 第二校會田亮 石井正 門馬忠男(以上)

水口で百圓

平市の愛婦、國婦に於て市内各家庭から集めてきたボロの回収は豫期の成績を上げて市の統後奉公會へ金百圓を寄附

小名町醫と校醫

小名町の町醫及び校醫は此の程左記の如く決まつた

町醫 久保田真 會田亮

戦地の便り

大平 尚行

雨期と云ふに降らず

揚子江の水も減る

防工事着手

上、入遠野の砂

入山の陸上競技

平第三小學校では全兒童の持ち寄り金二十二圓を今日赤津校長代表で植兵隊金方役所に寄託した

同窓會員並辱知各位

淺水成吉郎 清水廣政

小川赤井聯合品

石城郡小川、赤井二ヶ村聯合主催の二毛作と苗代品評會は去る二日から那農會の青山技師出張今日まで審査をなす

平第三小學校の 植兵隊金

平第三小學校では全兒童の持ち寄り金二十二圓を今日赤津校長代表で植兵隊金方役所に寄託した

風薫る窓下閑談

若葉して水白くむぎ黄ばみ 近郊の小丘に登つたあたり一面若葉して、木も草も緑一色である、遙かに眼下を見ればうね／＼と流る／＼帯の如き一條の小川の水さ／＼たる陽光をばじき返して白く見え兩岸に點綴する麥畑の麥は既に成熟して黄色を呈して居ると云ふ田野の景色を展覧した句

飯野村の品評會

石城郡飯野村の苗代と二毛作品評會は来る七、八の二日間那陸在吉成技出張審査する

舊臘廿日南支九塘ニ於テ名譽ノ 戦死ヲ遂ゲラレシ故本校教諭陸 軍歩兵大尉 小田村 健 先生ノ 慰靈祭ヲ來ル六月五日午後一時 ヨリ御遺骨ヲ迎へ本校講堂ニテ 佛式ニヨリ執行可致候ニ付右謹 告候也

昭和十五年六月三日

警城中學校長 淺水成吉郎 全 同窓會長 清水廣政

同窓會員並辱知各位

淺水成吉郎 清水廣政

小川赤井聯合品

石城郡小川、赤井二ヶ村聯合主催の二毛作と苗代品評會は去る二日から那農會の青山技師出張今日まで審査をなす

平第三小學校の 植兵隊金

平第三小學校では全兒童の持ち寄り金二十二圓を今日赤津校長代表で植兵隊金方役所に寄託した

入山の陸上競技

平第三小學校では全兒童の持ち寄り金二十二圓を今日赤津校長代表で植兵隊金方役所に寄託した

同窓會員並辱知各位

淺水成吉郎 清水廣政

小川赤井聯合品

石城郡小川、赤井二ヶ村聯合主催の二毛作と苗代品評會は去る二日から那農會の青山技師出張今日まで審査をなす

平第三小學校の 植兵隊金

平第三小學校では全兒童の持ち寄り金二十二圓を今日赤津校長代表で植兵隊金方役所に寄託した

風薫る窓下閑談

若葉して水白くむぎ黄ばみ 近郊の小丘に登つたあたり一面若葉して、木も草も緑一色である、遙かに眼下を見ればうね／＼と流る／＼帯の如き一條の小川の水さ／＼たる陽光をばじき返して白く見え兩岸に點綴する麥畑の麥は既に成熟して黄色を呈して居ると云ふ田野の景色を展覧した句

飯野村の品評會

石城郡飯野村の苗代と二毛作品評會は来る七、八の二日間那陸在吉成技出張審査する

新刊ダイヤペン付 ウエル萬年筆 二、〇〇以上

ペン先ハ獨特ノ新合金製耐酸、耐蝕、耐腐金ペンニ方ラヌ感觸而モ堅牢、優美、安價ノ三拍子揃ヒニテ眞ニ新興國策製品、

代理店 魁文堂 電話三三三

藤花

恐るべき蠶の軟化病豫防

【下】

（一）その他の品種は前に述べた六つの條件に對して殆ど不良成績を認めず、特に歐十八×支一〇六號は強健（二）夏秋盤の場合（イ）日九×支一〇八、日一一五×支一〇八號は繭桑不足で罹病（ロ）日一一×支一〇七號は箱飼ひの場合悪く、給桑不足でも普通育ちなら好成绩（ハ）日一一三×支一〇七號は軟葉で罹病、但し桑不足には強し、（ニ）支二〇×支一〇九號は軟葉の場合幾分罹病（ホ）日一一二×支一一〇號は何れの場合（前述六條件）も強健、但し解舒不良のため夏盤としては感心しない、（ハ）夏秋盤の全体を測して日一一二×支一一〇號は最も強健、ついで日一一三×支一〇七號、日一一五×支一〇八號、日九×支一〇八號、支二〇×支一〇九、日一一×支一〇七の順位である。

以上によつて軟化病豫防は各品種により前に述べた弱點に注意すればよと云ふのである、又技術師のこの研究は多岐にわたる綿密な研究を行つたものであるが軟化病の豫防だけを唯一の目的としたのでなく長い間幾多の研究によつて軟化病は絶対に病原菌によるものではないと云ふ持論を實證するために行つたものであり、學界方面にも大きな問題を興へるものと注目されてゐる（完り）

スカーフと晴雨兼用傘

平市四町目 やるつ 〇匹一電

大小の御宴會にホール御家族の御同伴に御座敷いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂 平市四丁目(電話二二三三)

治淋新藥 六〇七號

淋病、氣管炎、關節痛、神經痛、肺炎、ロイマチス、肩凝り、腰痛、痔瘡、皮膚病、など。

淋病生公華 九十五番 三〇五番 四〇五番

山野邊藥局

お醤油はヤマフル

醤油、味噌、たひら正宗、鮮魚食料品

山崎合名會社 電話 本業部 二一七〇番 支店部 二七〇番

明治生命會社代理店 山崎與三郎

便利で經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから、何を任せしてもご安心です。

平市一丁目三十一番地(電話七二三番)

日下家政婦會 會長 日下すい子

會員同志の御加入(派出なき限りに裁縫や)を御誘ひ致します(編物を教授致します)

平田町(三丁目裏川岸通) 明雲堂眼科醫院 電話六六九番

入院應需(自炊の便あり)

カバと洋品類

眞砂屋 (前驛、市平) (電話五六)



債券、公債、多額買取店

平市六丁目 電話五九一番

内科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

高久病院 院長 醫學士 高久忠

安田系統の帝國海上 帝國火災保險株式會社

平代理店 關内正一 事務取扱者 阿部助次郎

平市二丁目 電話一六番

喫茶、食、酒場を兼ねた。 レストラン サロ

平市銀座街 電話五九二番

營業時間 閉店：午前十一時より、閉店：午後十一時

帝國新聞

平市銀座街 電話五九二番

國民精神總動員 日本國民必見の書……

内閣情報部發行 寫真週報 1部10セン

※取次致して居ります

平市 西村屋藥局 電話三